



豊間根信 議員

復興計画

人件費削減し早期復興へ

今後決断する時期もあり得る

質問 一日でも早い復旧・復興は全町民の願いである。国からの復興交付金事業は今まで以上の厳しい精査（コスト削減）が求められてきたが町の復興計画実施への影響について問う。

沼崎町長 そのことも踏まえ計画策定してきたので現在のところ大きな影響はないと考えるが、今後全市町村の計画が出そろった際に、国の考え方により影響が出ることも想定される。国の動向を注視していく。

質問 国は多額の借金を抱え、復興財源の確保のために公務員給与削減法を成立させ予算を捻出しようとしている。伴って地方自治体にも自立した適切な対応が求められている。町としても町民に夢と希望を与えるためにも、やる気を示し国に先んじて人件費にまで踏み込んでいくべきではないか。

沼崎町長 100%に近い事業費を国に頼りたいが、状況により一抹の不安が出てきた。あらゆる手段とつてを頼りながら実行計画を認めてもらう執念を持って取り組んでいきたい。
質問 町が国に先んじて人

件費を削減し、予算を捻出し復興への本気度を示していくことが、国へのアピール、そして町民に対してやる気を伝えるのでは。

沼崎町長 公務員給与削減法は衆議院では通過したようだが方向性はまだ見えない。各自治体で検討することと思うが、人件費を削ることで交付税を下げる等の影響もあるかもしれない。中身がよく見えないが今後決断する時期もあると思う。

交通整備

交通の利便化を

当面は既存の改良で対応

質問 居住地の分散・さらなる高齢化を見据え、より利便性の高い路線・停留所などの検討と、町内周回バス・タクシー等オンデマンド交通形態の導入を進めてはどうか。

沼崎町長 これからの高台等での新たな住宅建設や高齢化社会を考えると、オン

議員9人が一般質問



オンデマンド交通は復興状況を見ながら検討していきます

デマンドは有効な交通形態の一つと認識している。路線延長、増設や新設、運行本数の増便やダイヤ改正等の対応をし、当面は既存路線を維持しつつ、オンデマンド対応型交通については復興状況を見ながら検討していくべき問題と考えている。

そのほかの質問

- ◆ 水産業の復興について
- ◆ 商工業の再生について
- ◆ 観光地づくりについて
- ◆ 企業誘致について
- ◆ 緊急雇用創出制度について
- ◆ 快適リフォーム支援について
- ◆ 放射線の影響について
- ◆ 早寝早起き朝ごはんについて
- ◆ 地域コミュニティの形成等について
- ◆ 復旧・復興事業計画実施について
- ◆ 山田病院の再建場所について
- ◆ 消防署の移転について
- ◆ 防潮堤復旧について
- ◆ 防災無線修復設置状況について
- ◆ 三陸縦貫道整備に伴う周辺道路網整備について
- ◆ 仮設住宅対応について